

## <5>mFOLFOX6 + Cetu 療法

<対象疾患> 切除不能 進行、再発大腸癌

<治療レジメン詳細> day 15 = day 1

	薬剤名	投与量	投与方法 (点滴時間)	投与スケジュール(日) 1.....8.....14
①	ジフェンヒドラミン塩酸塩錠 10mg	5錠	経口投与 ③の30分前	↑      ↑
②	生理食塩液 デキサメタゾン注 6.6mg	100mL 1V	点滴静注 30分	↑      ↑
③	生理食塩液 セツキシマブ(Cetu) 初回のみ 400mg/m <sup>2</sup> 120分 以後 250mg/m <sup>2</sup> 60分	250mL	点滴静注 120分(初回) 60分(2回目以後)	↑      ↑ 初回のみ 400mg/m <sup>2</sup> 120分 以後 250mg/m <sup>2</sup> 60分
④	生理食塩液	50mL	30分 フラッシュ用	↑      ↑
⑤	生理食塩液 グラニセトロン注 1mg	100mL 1A	点滴静注 30分	↑
⑥	5%ブドウ糖液 レボホリナート(I-LV)	250mL 200mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 120分 ⑥と同時に	↑
⑦	5%ブドウ糖液 オキサリプラチン(I-OHP)	250mL 85mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 120分 ⑤と同時に	↑
⑧	生理食塩液 フルオロウラシル(5-FU)	50mL 400mg/m <sup>2</sup>	⑤終了後 全開で滴下	↑
⑨	フルオロウラシル(5-FU) 生理食塩液 (投与量は備考参照) (インフュージョンポンプ使用)	2400mg/m <sup>2</sup>	持続注入 46時間 リザーバー使用	↑
⑩	デキサメタゾン錠 4mg	1日2錠(8mg)	内服	↑↑(day2-3)

<投与期間> 2週間(14日)を1クールとして繰り返す。ただし、Cetuは毎週投与。

<所要時間> 約50時間(day1は約6時間)

<備考>

- インフュージョンポンプと生理食塩液の量について

①バクスターインフューザー LV5(バクスター社製)

→ 生理食塩液は5-FUの投与量とあわせて、総量230mLになるよう調整する。

②ニプロシユアフューザーA SFS-1036HRP(ニプロ社製)

→ 5-FUの投与量によって生理食塩液の適正量が変わるため、別表参照。

本体の保管温度、投与ラインのゆがみ等の条件で、投与スピードが変わる可能性あり。

- セツキシマブはEGFR陽性の患者にのみ適応あり。